

# 給与は 長期に低落

## 運営費交付金カットと連動せず

### 三重大学の財務状況を分析します

毎年のように引き下げられる賃金。人文学部支部は、来たるべき大学当局との団体交渉の資料を作成することの一環として、三重大学の財務諸表を集計・分析します。今回は、運営費交付金収入の推移と、1人あた

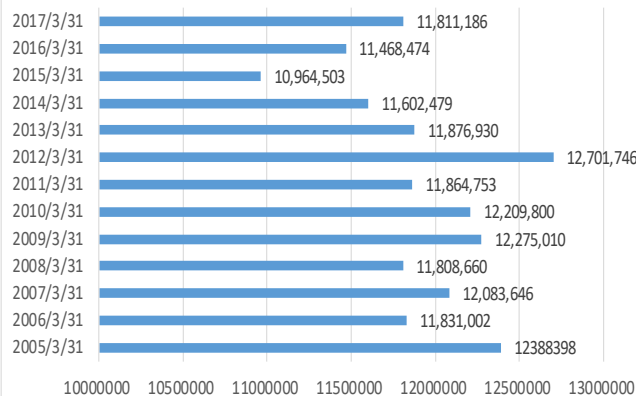
りの賃金支給額です。

このうち、運営費交付金

は、2012年度をピークに削減されるものの、昨年度は若干増額されたことがわかります。

このグラフからは、運営費交付金の削減と賃金削減が、必ずしも連動せず、むしろ三重大学側は、経営難とは別の要因で賃下げを実施しているのではないかと、という疑いが浮かびます。

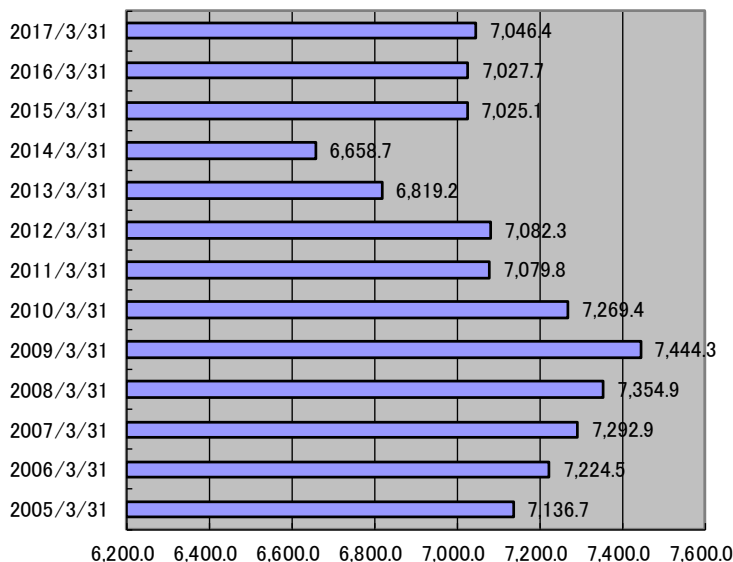
運営費交付金収入の経年推移



これに対し、給与支給額は、2009年度をピークに、その後の震災臨時減額、退職手当削減と着々と削減されている様子がわかります。

今後、随時本紙で三重大学の財務分析を実施します。専門の方あるいは専門に近い方は、ぜひその知見をお寄せください。

1人あたり常勤教職員支給額(千円)



## 定額働かされ放題法案 参議院で廃案に追い込もう

安倍内閣は先週1日、衆議院本会議で「働き方改革一括法案」を強行採決しました。人文学部は、満身の怒りを込めて抗議します。

なかでも「高度プロフェッショナル制度」は、政府のいう「健康確保措置」をとったうえで、休憩なしの24時間労働を48日間連続で行

うよう命ずる就業規則をつくることすら合法となる過労死促進制度です。今後参議院で、廃案に追い込むと

りくみが求められます。



三重大学教職組人文学部支部執行委員会

2018年 6月 5日(火) 第223号

津市栗真町屋町1577 三重大学人文学部内

編集・発行人 前田定孝

E-mail:kff02520@nifty.com